

German Automobile Club (ADAC)

ドイツ自動車連盟 (ADAC)



自動車のハイテク診断システムの無停止運用 Stratus Avance ソフトウェアに全幅の信頼を置く ADAC

ビジネスの状況

技術の進歩により自動車は四輪のコンピュータ・センタと化し、エンジン制御から様々な安全対策機能、娯楽機能に至るまで、複雑な IT 技術で動作する電子機器で満たされている。今日のこのようなハイテク自動車の不具合診断を正しく迅速に行なうことは、もはや専門家さえ難しいというのが実情だ。

腕に自信のある自動車オーナーが、自ら工具とマニュアルを手に愛車を整備する時代は終り、今や車のメンテナンスは、高額な診断専用電子機器を扱う特殊技術を有する熟練者の専門領域となっている。

自動車オーナーは、エンジン・ルームを覗いただけでは整備の品質を判断したり中古車のコンディションを見極めたりすることができない。このような技術的な溝を埋めるために、ドイツ自動車連盟 (German Automobile Club - ADAC) の Lower Saxony / Saxony Anhalt 支部は、トレーラーの中に最新の設備を備えたテストレーンを積み込んで、連盟の会員に車両検査のサービスを提供する "ADAC デジタル診断" プロジェクトを立ち上げた。

2009 年のサービス開始以来、この長さ 27 メートルの ADAC トラックは 4,000 台の車両の検査を実施してきた。30 分間のセーフティー・チェックでは、全体構造、トランスミッション、ブレーキ、ブレーキオイル、タイヤ、ショックアブソーバー、ライト、エアバッグ、バッテリー、タコメーター、冷却系、ステアリング機能の検査に加えて、コンピュータのメモリ・エラーや内視鏡を使った空洞部分のチェックを行ない、個々の車に特有の診断結果情報を提供している。

ADAC の会員データは本部で集中管理されているが、車両検査などの地域別プロジェクトの IT インフラとそのサポートは支部に委ねられている。Lower Saxony / Saxony Anhalt 支部では、トラックでの検査完了直後に UMTS (Universal Mobile Telecommunications System) でデータを受信してデータベースに取り込む 2 台のサーバを導入し、会員がウェブ・サイトからいつでも自分の自動車の検査結果データにアクセスできるしくみを構築した。

QUICK FACTS

SOLUTION PROFILE

- ・ ADAC 車両診断部門が 120 万人の会員に自動車の点検サービスを提供。
- ・ 無停止稼働が会員のウェブ経由の 24 時間データ・アクセスを支える。
- ・ 24 時間監視と自己診断、障害予兆検知の機能がシステム停止とデータ喪失を防止。
- ・ 標準装備の仮想化機能が複数の Windows / Linux 仮想マシンをサポート。

PRODUCTS

- ・ Stratus Avance ソフトウェア
- ・ 業界標準 IA サーバ

ビジネスの課題

このデータ処理の新たな IT ソリューションを開発する際の目標は極めて高いものだった。

- 検査結果データへの 24 時間アクセス
- 中断のないスムーズな運用
- 仮想化環境でのリソース有効活用

「無停止運用は当初からプロジェクトの最優先課題の一つでした。お客様がテスト完了の直後から結果データを自宅から確認することを望んでいたからです。」

Ulf Farger, Project Team Leader, ADAC

「与えられた時間が限られる我々小所帯のチームが必要としていたのは、長時間のトレーニングや絶え間のない管理作業なしに高い信頼性で稼働するソリューションでした。」

Ulf Farger, Project Team Leader, ADAC





「無停止運用は当初からプロジェクトの最優先課題の一つでした。お客様がテスト完了の直後から結果データを自宅から確認することを望んでいたからです。」とADACのプロジェクト・リーダー、ウルフ・ファーガー氏 (Ulf Farger, Project Team Leader) は語る。「診断結果は24時間提供できることが求められていました。車両デジタル分析はパイロット運用の段階にあり、

プロジェクト全体を成功に導くためにはスムーズで中断のない運用の実績を示す必要があったのです。」リソースを有効に活用するために全てのシステムを仮想化環境で稼働させることも重要な要件だった。

Stratus Avanceソフトウェアによる課題解決

追加ハードウェアの購入や導入と運用に手間と費用のかかる旧来型のハイアベイラビリティ・システムや通常の仮想化プラットフォームは検討対象外だった。

「与えられた時間が限られる我々小所帯のチームが必要としていたのは、長時間のトレーニングや絶え間のない管理作業なしに高い信頼性で稼働するソリューションでした。」とファーガー氏。

プロジェクトが最終的に選んだのは30年にわたり高信頼化技術のリーダーの座を守り続けて来たStratusの無停止型仮想化ソフトウェアAvanceだった。

Stratus AvanceソフトウェアはADACに、導入・運用が容易で専用ハードウェアを必要としない堅牢な無停止環境を提供した。内蔵の障害予兆検知機能はほぼ全ての障害を発生前に検出して対処。ウェブ・ベースの一元管理コンソールは仮想マシン、物理サーバ、ネットワーク・インターフェースのリモート監視・管理を可能にしている。

導入効果

ADACはAvanceソフトウェアを2台の標準IAサーバにインストールしたが、その手順はまさにAvanceの使いやすさを証明するものだった。

「サーバ環境は、作業に丸1日の就業時間を費やす必要もなく準備が整いました。トレーニングは1日だけ実施。それ以来、システムは我々が何も手をかける必要なく稼働しています。」

正に期待通りに、Avanceソリューションは無停止運用の約束を実現し、ADACのデジタル診断プロジェクトの今後の拡大への確実かつ容易な対応を可能にした。会員数120万人と、ドイツ国内4位の規模のADAC支部は、デジタル診断プロジェクトの成功で得た利点を活用できる有利な立場に立つことができたのだ。

「サーバ環境は、作業に丸1日の就業時間を費やす必要もなく準備が整いました。トレーニングは1日だけ実施。それ以来、システムは我々が何も手をかける必要なく稼働しています。」

Ulf Farger, Project Team Leader, ADAC



Stratus AvanceソフトウェアはADACに導入・運用が容易で、専用ハードウェアを必要としない堅牢な無停止環境を提供した



<http://www.stratus-avance.jp/>

2011年8月：US事例翻訳版制作